

記者発表

9月16日台風18号による出水

四十四田ダムに大量に漂着した流木の緊急撤去が終了
～ 約4.5千m³（平年の約7倍）を撤去、美しい湖面が復活～

北上川ダム統合管理事務所の**四十四田ダム**では、9月16日台風18号による出水でダム湖に漂着した**流木の緊急撤去（9月20日着手、約8万m²）が終了し、出水前の美しい湖面が復活**しました。

○**四十四ダム**では、9月16日の出水でダム湖に大量に漂着した**流木の緊急撤去**が、11月16日で**全体量（約4.5千m³、25mプール15杯分）が完了**しました。

【ダムによる流木捕捉の効果】

流木やゴミがそのまま河川に流れた場合、橋に引っ掛かり流下を阻害したり、取水の障害となったり、河川環境を悪化するなどの被害が予想されます。ダムで捕捉することにより、流木による二次的な被害軽減にも貢献しています。

<発表記者会：岩手県政記者クラブ>

問い合わせ先

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所
管理第二課長 佐々木 修（内線341）
TEL 019-643-7831（代表）

北上川ダム統合管理事務所HP URL
<http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

しじゅうした 四十四田ダムの流木処理状況

平成25年9月16日（台風18号）

- 台風18号に伴う豪雨で四十四田ダム上流域において、平均累加雨量129mmを観測。
- 四十四田ダムへの最大流入量が1,468m³/sと**計画規模を上回る既往最大値**を記録。
- 流木の緊急撤去**、9月20日着手、**11月16日終了**
- 平年の**約7倍にあたる約4.5千m³の流木**(25mプール15杯分)をダム湖から撤去。
→ 出水前の**美しい湖面に回復**を図った。



流木撤去状況



流木漂着状況(撤去前)H25.9.17撮影



湖面を覆う大量の流木(約8万m³)

流木緊急撤去で、出水前の**“美しい湖面が復活”**



ダム湖全景(撤去後)H25.11.18撮影

仮置きされた流木の**“高さは”**
ビル1階分に相当(約4.0m)



約h=4.0m

身長160cm

流木仮置き状況